『生産性向上支援訓練オンラインコース』を利用した方の声

株式会社セーブ様（鶴岡市）

利用コース情報

・訓練コース名：
①実務に基づくマーケティング入門（オンライン）
②ナレッジマネジメント（オンライン）
・訓練期間：令和3年１~2月（4日間･6時間×2コース）
・受講者数：16名
・ポイント：
①マーケティングの基礎知識及び業務の流れを理解し、企業全体で顧客を満足させるマーケティング手法を習得する。
②ナレッジマネジメントの重要性を理解し、ナレッジを収集・活用できる知識・技能を習得する。

プロフィール

・所在地：山形県鶴岡市
・従業員数：11名
・設立：1988年4月
・主な業務内容：
各種業務用ソフトウェアの設計・開発・サポート
パッケージソフトウェアの設計・開発・サポート

事業主の声

＜代表取締役　成澤　正一　さま＞

当社では、日々変化する社会情勢とお客様のニーズに適切に対応できる人材の育成を目指しています。全国の個人農家のお客様や地元企業のお客様のニーズについて、より正確に把握し、スピーディーに対応する仕組み作りを模索していたところ、ポリテクセンター山形様より頂いた「生産性向上支援訓練カリキュラム」を見て、相談しました。

今回は新しい生活様式への対応として、インターネット経由のオンラインで実施頂けたことで、人材育成に必要な取り組みを継続することができました。

訓練では、当社の課題に対応した内容の講義を演習も交えながら受けることができ、わかりやすいと感じました。

訓練を生かして今後、マーケティングの各種フレームワークにより分析を行い、ナレッジマネジメントで学んだ方法で管理方法を組み合わせることで、組織的価値を創造する仕組み作りを進めたいと考えています。特にマーケティングについては漠然とした認識でしたが、体系立った定義と重要性を学んだことにより、活動に対する認識が共通化でき、円滑なコミュニケーションがとれるようになったと感じます。

今後も、自社やお客様の変化に合わせて、課題に対して有効な訓練を継続的に実施していきたいと考えています。

受講者の声

＜取締役開発部長　小田　宜裕　さま＞

担当業務は、企業のお客様向けにオーダーメイドのソフトウェア開発と個人農家のお客様向けにパッケージソフトウェア開発と販売を行っています。パッケージソフトはインターネット経由での販売が中心のため、WEBマーケティングの仕組み作りと、その結果の共有方法が課題として認識していました。

そんな中、訓練を受講して、難しいと感じる内容もありましたが、演習とグループワークを多く取り入れて頂いたおかげで、理解が深まったと思います。コロナ禍であっても、オンラインで訓練を実施でき、学ぶ機会を得られたことはとても良かったと思います。講師の方の進行もスムーズで、対面と遜色ないと感じました。

訓練を生かして、お客様と自社の関係を正しく認識し、ニーズへ応えられるように知識の共有と技能向上に向けた仕組み作りを進めたいと思います。そして、社員全員の知識と経験を活かし、一体となって成長を目指す風土づくりを目指します。